

けんいちだより



発行責任者：(公明党 さいたま市議会議員) さいとう健一 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

12月定例会 活動報告



さいたま市議会 12月定例会が、昨年11月29日から12月22日の24日間の会期で開かれ、今回の定例会では、市長提出議案が44件、議員提出議案が1件を審議いたしました。

私の所属する文教委員会では議案外質問、予算委員会では補正予算案について質問を行いました。議案内容と審議結果については、さいたま市議会ホームページの「さいたま市議会資料検索システム→文書一覧>本会議>平成29年12月定例会>審議結果」にてご確認ください。

<https://www.powerfinder-asp.net/saitama/>

私の所属する文教委員会では、1、SNS被害防止について、(1)子ども達がSNSを利用することについて。(2)情報モラル学習サイト、「スマホナビゲーター」(通称「スナビ」(すまなび))の周知について。(3)保護者へ、携帯・インターネット安全利用の周知について。2、教員の働き方改革について、(1)チーム学校の現状について。(2)教員の負担軽減の取り組みについて。3、学校プールについて、(1)学校プールの現状について。(2)学校プールの再編について。議案外質問を行いました。



©KOMETO

教員の働き方改革について(質問要旨)

教員の長時間勤務が社会問題になっている中で、さいたま市の教員がワーク・ライフ・バランスを改善することで、これまで以上にやりがいや情熱を持ち、学校現場において生き生きと主体的かつ質の高い教育活動に携わることができる環境を整えることが、最終的に子ども達のために繋がるため教員の負担軽減を図ることを質問しました。

<教育委員会の答弁要旨>

- ・来年度の夏休みには、学校の先生方が夏休み中に休暇がしっかりととれるように、研修会や会議や部活動などを原則行わない、**学校を閉庁とする日を設定。**
- ・**スクールサポートスタッフの導入**は、学習プリントの印刷、配付などを行うことで、**教員が子どもたちと向き合う時間を確保できるという大変大きなメリット**がございますので引き続き導入の検討。
- ・**部活動指導員の導入**は、国の方針を踏まえて、単独で部活動の指導に当たったり、大会等への引率ができる、顧問の先生のかわりに務めることができる非常勤職員の配置として、本格的に実施するための準備を進められるように検討。
- ・教員の働き方を見直していくということは、とっても大事なことです。また向き合っている子どもたちにとっても大変意味のある大事なことだと考えています。学校における教員の働き方をしっかりと見直して、検討にとどまらず、実施していくことは、大事なことだと考えています。この課題については実施に向けて進めてまいります。



©KOMETO

公明党さいたま市議会議員団より、清水勇人さいたま市長へ平成30年度の予算編成並びに施策に対する要望書を提出！！

10月20日 公明党さいたま市議会議員団として、清水勇人さいたま市長へ平成30年度予算編成並びに施策に対する要望書を提出しました。

この要望書は、下記の9テーマに分けられ、全67項目にわたって構成されております。

これら予算要望の各項目については、市議会議員団としては議会活動を通して実現を図ってまいります。また、その具体的内容については、さいとう健一ホームページの議会活動のページにて詳しく紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



(写真の一番左側が齊藤健一)

予算要望書の9テーマの主な項目内容

1. 女性の活躍と子育て支援の拡充

- 保育所の待機児童ゼロ対策の推進
- ・保育士や看護師の必要数配置のための支援策を拡充強化すること。

2. 教育環境の整備と子どもへの支援

- いじめ・不登校対策の推進
- ・LINE等のSNSによる24時間受付可能な子ども相談窓口を創設して、いじめ防止のための相談体制を強化すること。



©NEW KOMETTO

3. シニアが安心して住み続けられる地域

- 認知症対策の推進
- ・認知症初期支援チームの増設(各1)による支援体制を強化すること。



©NEW KOMETTO

4. 障がい者の自立と生活を支援

- 障がい者の「住まい」と「働く」を支援
- ・特例子会社の誘導策を設けることや、障害者総合支援センターのジョブコーチの増員や職業訓練の充実など、総合的な障がい者の就労環境の整備を図ること。特に、ジョブコーチの全区役所配置を早期に実施すること。

5. 市民の健康づくりをサポート

- がん対策の推進
- ・市民に対して、市のがん関連情報をまとめたホームページで提供すること。



©KOMETTO

6. 市民生活の利便性とさいたま市の魅力の向上

- 交通弱者への移動支援
- ・高齢者や障がい者、妊婦、児童など、利用対象者を限定するなどして、デマンド型交通による移動支援策を実施すること。

7. 災害に強い都市づくり

- 総合的な浸水対策の推進
- ・浸水マップに対応する慢性的な浸水箇所をモデル地域とし被害軽減策を図ること。



©KOMETTO

8. 都市を支える産業の振興

- 市内企業の育成と入札制度の改善
- ・債務負担行為を実施し、特に年度はじめの工事の平準化を図ること。

9. 住み続けたい魅力あふれる都市

- 「東日本の対流拠点としての大宮」のまちづくりの推進
- ・大宮駅の東武線連絡通路沿いの改札口の早期開設等を含む、機能高度化及び周辺整備に向けた大宮駅グランドセントラルステーション化に積極的に取り組むこと。